

「TJCAS 2019」参加報告書

群馬大学大学院理工学専攻

小林研究室 M2 張鵬飛

開催期間：2019年8月19～21日

開催場所：栃木県日光市輪王寺(紫雲閣),日光東照宮(客殿)

第5回 台湾と日本での回路とシステムに関する会議（TJCAS 2019）が2019年8月19～21日に栃木県日光市で開催された。TJCASの目的は、回路とシステムについて最新の研究に関する意見交換であり、日本と海外からは台湾を主として180名程度の参加があった。回路とシステムの分野の論文が発表された。

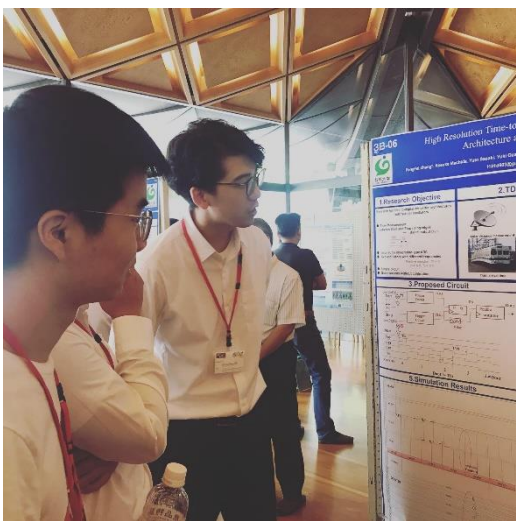
一日目は案内スタッフとしてTJCAS参加した。

会場近くの交差点で色々な国の研究者・学生の参加者を会場に案内した。



一日目の会場の 輪王寺「紫雲閣」

二日目、三日目はポスター発表が行われた。学生や教授を含め たくさんの発表が行われ、積極的な議論が交わされていた。「異なる壁材によって、音の反射が異なる」の研究発表に面白さを感じた。私は三日目に「High Resolution Time-to-Digital Converter Using Integral 」の題目でポスター発表をした。三日間における各発表はどれも大変勉強になり、有意義であった。



筆者のポスター発表



東照宮「客殿」でのキーノートの様子

謝辞

TJCAS2019 参加機会を与えて頂いた小林春夫先生、運営の指示頂いた桑名杏奈先生、および群馬大学、他大学の先生方、学生の方々に感謝申し上げます。